



ライフワークを活かして

# 社会保障の充実

長寿少子社会に対応

人口減少に歯止めをかけるためには、まちの活性化が重要ポイントです。

人の流れを創出し、おだやかな人口年齢構造を取り戻すためには、ユニバーサルデザインを推進し「来てもらいたい、住んでもらえる環境整備」を行ない、都市格の向上と、その魅力の発信をしなければなりません。そのためには、中小企業の下支えを行ない、まずは景気の回復を計ることあります。



京都市議員

ムクダ隆知

また、持続可能な社会保障（医療・年金・介護・子育て支援）のためには、子育て世代を中心とする現役世代の雇用環境の整備は不可欠です。まずは、子育て支援で雇用の創出安定化、そして就労の支援を行ないます。保育事業の現場を預かるひとりとして、子ども子育て支援制度の矛盾を指摘し、京都市独自の制度改革を強力に推進します。

平成27年度予算、経済・子育て重点

全会計 **約1兆7,000億**

一般会計は過去2番目の規模で、積極型の予算となった。

2月市会閉会

# 「子育て環境日本一・教育環境日本一」を目指し

## 福祉・医療の充実

待機児童ゼロの維持  
多様なニーズに対応

待機児童ゼロの維持と多様な保育ニーズに対応していかなくてはなりません。それはすなわち質と量のバランスをとるということです。

京都市の保育料は国水準の70%でありましたが、国の支援により64%まで軽減されました。また、本市独自の取り組みとして障害児保育の充実を行なうてまいります。そして、多様な働き手に応じた時間外保育受入体制も充実してまいります。

また、放課後の学童クラブ、すなわち学童保育の充実は不可欠であります。今まで対象は小学校1年生〜小学校3年生（障害のある児童は4年生）まででしたが、国の補助もあり小学校6年生まで預かることができるようになりまして。

また、障害のある児童の受入体制の充実としては介助者の確保に向けて介助者謝金を改定いたします。

社会福祉施設  
耐震化の促進

京都市は小・中学校に於いて100%の耐震化がなされましたが、市内の保育園では半分しか耐震化がなされていません。南区に於いては民間保育園24カ園中、15カ園が改修済みとなっています。

子育て世帯の  
経済的負担軽減

平成27年以降の予算に於いて、第3子以降の保育料・幼稚園保育料が免除されます。また、子どもの医療費支給制度が入院・通院医療費支給対象を小学校6年生までから中学校3年生まで拡充されます。

教育環境の充実

学問とともに大切である食育において学校給食の「和食」の充実を図ってまいります。従来アルマイト食器がPEN食器に3年計画で全市に拡大してまいります。

高齢者福祉の充実

長寿社会に対応するためには介護は避けて通れない課題です。そのため20箇所の介護基盤整備を積極的に行なってきました。

国保料初の引き下げ

国民健康保険事業は、医療費適正化と徴収率向上等の取り組みに加え、国による保険者支援制度の拡充による財源を活用することにより、制度創設（昭和36年）以来、初めて全ての保険料率（医療分、後期高齢者支援分及び介護分）が一人当たり平均2.5%引き下げられました。



# 京都の強みを最大限に

## 地域経済の活性化と安定した雇用の創出

市民の皆様や市内企業事業者が景気回復を幅広く実感できるようなきめ細かく事業を展開してまいりました。

**観光を振興し、その経済効果により市民生活を向上させ、世界があこがれる国際文化芸術観光都市京都へと**なるようにしていかなければなりません。

「**世界一の観光地KYOTO**」を目指し、ブランドの国内外への発信により昨年、世界で最も影響力をもつ旅行雑誌のひとつ、「**トラベル・アワード・レジャー**」誌が行なった読者投票「**ワールドベスト**



アワード2014」において、世界の人気都市を決める「**ワールドベストシティ**」ランキングで、**京都が1位**になりました

これからも戦略的なMICE誘致の推進を続け、小規模MICEへの開催支援の新設や大規模MICEへの開催支援の充実等、会議・研修・セミナー、報奨・招待旅行または大会・学会・国際会議、展示会の誘致が望まれます。

### 国際交流の推進

#### 京都の代表団 青島市へ派遣

京都市と中華人民共和国青島市は、経済、環境、文化、スポーツ、教育分野を中心とする民間レベルでの交流・協力を一層促進するため、**パートナーシティ**提携を締結しております。平成二十六年六月に開催された二〇一四**青島世界園芸博覧会**にて「**日本京都園**」出展。



中国をはじめ世界に向けて京都の魅力発信し、**京都への観光客・留学生の誘致等**、交流の活性化を目指しました。

#### 韓国の市議員来京 京都市他都市を調査

国際交流の一環と京都の強みを発信する事業として韓国の高陽市、城南市から議員が来京され、京都市の市政や議会の運営について調査をされました。私は**京都市会日韓親善議員連盟幹事長**として応接をさせていただきました。

#### ◆新産業の創出・育成

日本初の革新的な医薬品・医療機器等の創出により、**健康長寿社会を実現**するとともに、**国際競争力強化**による**経済成長**に貢献することを目指す「**ライフイノベーション**」を推進。

#### ◆中小企業への支援の拡充

99%以上を占める**中小・小規模事業者企業経営の支援体制の強化**拡充。

#### ◆伝統産業の振興

京もの海外進出支援事業 KYO・MONO is COOL! プロジェクトによって**販路開拓、人材育成等**を実施。

#### ◆中央市場の整備

京都市第一**中央市場整備**京都市第二中央市場（食肉市場）整備

#### ◆農林業の振興

**6次産業化への取り組み支援、作業用機械の導入支援**等

#### ◆安定的で質の高い雇用の創出

第一次産業である農林水産業が、農林水産物の生産だけでなくとどまらず、それを原材料とした加工食品の製造・販売や観光農園のような地域資源を生かしたサービスなど、**第二次産業や第三次産業**にまで踏み込みます。

#### ◆世界一安心安全・おもてなしのまち京都

市民ぐるみで進める「**世界一安心安全で、やさしさあふれるおもてなし**」のまちづくりや**防災・耐震化対策の加速**

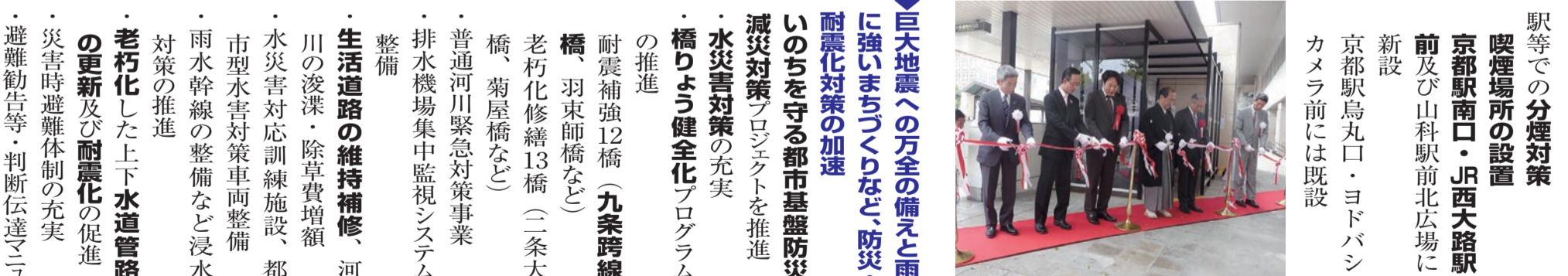
#### ◆巨大地震への万全の備えと雨に強いまちづくりなど、防災・耐震化対策の加速

いのちを守る都市基盤防災減災対策プロジェクトを推進  
水災害対策の充実  
橋りよう健全化プログラムの推進  
耐震補強12橋（九条跨線橋、羽束師橋など）  
老朽化修繕13橋（二条大橋、菊屋橋など）  
普通河川緊急対策事業  
排水機場集中監視システム整備

#### ◆生活道路の維持補修、河川の浚渫・除草費増額

水銀灯・蛍光灯約三千灯を3年間でLED化

#### ◆公園照明LED化事業



#### ◆駅等での分煙対策

喫煙場所の設置  
京都駅南口・JR西大路駅前及び山科駅前北広場に新設  
京都駅烏丸口・ヨドバシカメラ前には既設

アル作成  
避難勧告等の判断基準を分かりやすく定量的に設定するなど**全面改訂**  
地域事情に応じた**防災行動マニュアル**作成

#### ◆民間建築物の耐震化対策の強化

修学旅行生が利用するホテル・旅館の耐震化に対して**独自の助成制度**を創設

#### ◆住宅の耐震化対策の強化

まちの匠の知恵を活かした**京都型耐震リフォーム支援事業の運用改善**  
既存住宅の省エネルギー等支援事業  
受付窓口（耐震・エコ助成ホットライン）を二本化  
まちの匠工事メニュー**助成限度額引上げ**  
耐震診断士派遣の無料化（H27限り）

#### ◆民間社会福祉施設耐震改修の助成へ

保育園14箇所分  
児童館3箇所分

#### ◆市営住宅ストック総合活用事業

八条団地は耐震化+エレベーターの設置から**全面改築**へ  
耐震改修等・下鳥羽（設計）、大受（設計）、醍醐南、西野山、山ノ本など



### ◆防災拠点の整備と消防団装備の充実

速消小型水槽車、機動二輪車（消防バイク：KYOTO RED WING）導入実現  
消防出張所整備（東寺→八条通）  
全消防団に発電機と照明を配備

### 観光客等帰宅困難者対策 タミナルにおける防災対策推進事業

避難誘導訓練として、平成26年9月27日深夜の京都駅で実施。JR東海、JR西日本グループ、近鉄、交通局、京都市や府警が連携、約630人とともに私も参加しました。



### 災害用備蓄物資等の充実

かんぱん→白粥（乳児及び75歳以上）  
マンホール仮設洋式トイレ  
導入。ユニバーサルデザインに対応。

# 国際文化芸術観光都市へ

## 京都ならではの魅力の向上を

「世界の文化首都」としての文化芸術の振興、環境にやさしい循環型社会など京都ならではの魅力の向上

### 京都をつなぐ無形文化遺産制度を創設

第1号として「京の食文化」大切にしたい心、受け継ぎたい知恵と味  
第2号として「京・花街の文化」はいまも息づく伝統芸術とおもてなし  
第3号として「京の地蔵盆」地域と世代をつなぐまちの伝統行事

### 新「京都市動物園構想」の推進

### 「近くて楽しいどうぶつえん」

「おとぎの国」「もうじゅうワールド」「アフリカの草原」  
「管理棟・病院・救護センター」「ひかり・みず・みどりの熱帯動物館」「東エントランス」「サルワールド」「ゴリラのおうち」「学習施設」「京都の森」「ゾウの森」の拡大実現。ラオスから4頭のアジアゾウ来園



京都市立芸術大学移転整備  
崇仁地域の活性化から東九条を含めた京都駅東部エリアの活性化を行ないます。

### 京都国際マンガ・アニメフェア

第1回23800人  
第3回40576人

### 「日本酒条例サミット」京都の開催

全国44の自治体・機関が参加



### ◆環境先進都市・京都

雑誌み等の紙ごみ分別・リサイクル徹底推進事業がモデル地区二万二千世帯を対象として実施→全市で実施

地域の「コミュニティ回収」古紙回収業者による回収  
「小型金属類・スプレー缶」の定点収集日での回収  
まち美化事務所も回収  
有害・危険ごみ等の移動式拠点回収事業 全23品目を各元学区で2年1回から毎年1回の回収になります。



### ◆スポーツの振興

市民の利用率が高い西京極総合運動公園の計画的改修



ハンナリーズアリーナ（京都市立体育館）の改修、わかさスタジアムと陸上競技場のLED大型映像装置、メインゲートの設置等

### ◆「人と動物とが共生できる、うるおいのある豊かな社会」推進事業

南区に「人と動物とが共生できるうるおいのある豊かな社会」を実現するため、動物の愛護と適正な飼養についての関心と理解を深める取組の拠点施設で日本一の動物愛護センターが開設されます。  
（愛称・動物愛ランド・京都）



参加と協働による地域の個性と活力あふれるまちづくり

### 京の道・川・公園サポーター制度

スマートフォンなどのICTを活用した市民通報システムの構築・運用



### 京都駅西部エリア活性化推進事業を

南区の誇り世界遺産東寺、史跡西寺、羅城門（AR動画計画）を活かし、回遊性のある活性化を行ないます。

平成28年の春には日本一の鉄道博物館が完成致します。また、中央卸売市場の再整備、それに連携した民間事業者や地域と連携したエリアマネジメントによるまちづくり、魅力創出イベント、情報発信等を行なっております。



# 「歩く?けるまち・京都」の推進

## 未来の京都へ先行投資

### バリアフリーの推進 JR西大路駅着手へ

駅等のバリアフリー化の推進が計られているところで、長年にわたり皆さまからのご要望が叶いJR西大路駅に於いて構想策定が着手されることになりました。

### 京都駅南口の 駅前広場整備

本年2月に3基の機械式地下駐輪場(612台分)が完成致しました。そして12月には正面の拠点広場デッキが広くなり、エスカレーターの増設も決定致しました。これはエレベータを利用される車椅子やベビーカーの利用者に配慮したものです。また、アバンティー前には横断歩道も新設されます。



### 転落防止 可動式 ホーム柵 の設置

初めての代表質問で答弁をいただいた転落防止可動式ホーム柵が地下鉄烏丸線の御池駅にて設置が実現しました。また次年度以降、京都駅・四条駅での設置が決定しております。



### 公共交通事業

ICカードシステムは平成25年3月より「全国相互利用サービス」が開始されましたが、長年要望されてきました市バスでは昨年12月に利用することができるようになりました。

### 地下鉄赤字減少

地下鉄事業は、着実な収支改善をいたしております。旅客数が1日あたり9千人増加し、駅ナカビジネスも好調で、1日当たりの経常赤字額は、18年度の4千6百万円から、27年度では10分の1以

### 市バス黒字化

下の4百万円まで大幅に縮小することが見込まれています。

市バス事業は、累積赤字を解消し、一般会計からの任意補助金に頼らない自立した経営がなされることになりました。

また約6億円の黒字化でバス車両は、昨年3月の24両増車に続き、更に12両増車し、計8百両で運行することによって、ダイヤの充実や利便性の向上で増客を図ってまいります。

私が訴えてきました、南1号系統のJR桂川駅への乗り入れ。また、18号系統のJR二条駅までの延伸。そして、東寺・水族館・西本願寺エクスプレスの新設もさせていいただきました。



### 議会の役割 議員の仕事

市会議員は、最も身近な市民の代表たる議員として、市役所のお金の使い方が、市民の安心・安全な、いのちとくらしを護る施策に活かされているかを是々非々で点検・監視・評価し、市民の皆様の声なき声に耳をかたむけ、政策を提案提言するのが役割であり仕事です。



福祉・安心いちばんで、ハッキリ発言、しっかりと仕事をモットーに、元気で優しいひとづくり・まちづくりに全力投球で、引き続き取り組んでまいります。

## 質問回数

# 2千回突破!

質問回数 2千回突破!

※議事録・インターネット議会中継をご覧ください。

京都市会

検索

あなたのご意見・ご要望をお聞かせください。

ムクダ隆知事務所 <http://mukuda-t.jp> E-mail:info@mukuda-t.jp

〒601-8464 京都市南区唐橋高田町52 TEL 075-661-0122 FAX 075-672-5001

